

ふくい社会福祉

2024
3
No.465

Fukui Social Welfare



全国の福祉関係者が、能登半島地震の被災地でさまざまな支援活動を続けています。

本会も県内市町社協と連携し、輪島市社協に職員を派遣して在宅避難者の支援や災害ボランティアセンターの運営に協力するとともに、福井県災害派遣福祉チーム（福井DWAT）を派遣するなどして、被災者支援に当たっています。（2、3、4ページに関連記事）

CONTENTS

2,3P **特集** 県内福祉関係者が被災者支援に総力を結集

4P 報告 ◆ 福井DWATが初出動
募集 ◆ 能登半島地震災害義援金募集

5,6P 案内 ◆ 社会福祉関連民間助成事業のご案内

7P 報告 ◆ 高齢福祉分野における
eスポーツ普及・促進セミナー開催！
案内 ◆ 各種貸付事業のご案内

8P 案内 ◆ 社会福祉研修所年間研修計画

9P 報告 ◆ 寄付・寄贈
募集 ◆ 賛助会員募集
案内 ◆ 研修受講サポートシステム

10P 募集 ◆ 外国人技能実習生受入施設募集
広告 ◆ ボランティア保険



被災者支援に総力を結集

能登半島地震で福井県内福祉関係者

令和6年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震は、広範囲に甚大な被害をもたらし、現在も多くの方々が困難な生活を強いられています。発災直後から行政をはじめ、さまざまな機関や団体などが救援や復旧に尽力し、本会も県内福祉関係者とともに総力を結集して被災された方々への支援に当たっています。今号では、発災直後からこれまでに実施してきた取り組みについて報告します。

今回の地震では、福井県内でも最大震度5強を観測し、嶺北北部で住家被害等がありました。本会では、直ちに職員の安否確認と被害状況の把握、併せて県内市町社協の状況確認に努めました。翌日には業務関係職員が職場に参集し、被害状況の把握、福井県の関係部局や石川県社協、全社協等と今後の対応、役割分担の再確認等を行いました。社協においては、大規模災害等により被災県単独での救援活動が困難と認められる場合は、「東海北陸ブロック県・名古屋市社協災害応援協定」に基づいて相互支援する協定を結んでいます。本年度は富山県社協と岐阜県社協が幹事県でしたが、富山県内でも被害が大きかったことから、本会が富山県社協の幹事県業務を引き継ぎました。隣県で起きた大規模な災害ということで、先遣隊として本会職員を1月5日から石川県社協に派遣。その後、全社

協等との調整により、福井県内社協は、輪島市社協の業務や災害ボランティアセンターの運営支援等を行うことになり、現在も職員の派遣を行っています。また、本会が事務局を担う福井県災害派遣福祉チーム(福井D.W.A.T)は令和3年度発足、登録チーム員104名において、発足後初めて被災地へ



輪島市社協本所での打ち合わせの様子

チーム員を派遣。金沢市のいしかわ総合スポーツセンター等の1・5次避難所での配慮が必要な方の見守りや介助、困りごとへの対応のほか、輪島市内の1次避難所での福祉的なニーズの把握と生活改善の支援を行っています。今回は、地震や津波、大規模火災等の複合災害となり、被害が広範囲に及んだ上、帰省中だった人もいたことからピーク時には石川県内だけで避難者が3万人を超えました。また、土砂崩れや道路の陥没・隆起、上下水道、電気等のライフラインの被害も大きく、復旧が進みにくいことから、支援者やボランティア等が現地に入りにくい状況がありました。ライフラインの復旧の遅れはもとより、車中泊や在宅避難、農業用ハウス等を活用した自主避難所の開設など避難形態も多岐にわたり、支援物資が行き届かないといった問題も浮き彫りとなるなど、これまでの支援ノウハウを見直さざるを得ない状況となっています。本会では今後も時宜の状況を見極めながら、被災された方々に寄り添い、関係機関・団体の方々と共に支援を継続していきます。

全国の特例貸付状況 (3月1日時点)

県	件数	金額(千円)
石川県	858	117,450
富山県	85	11,250
新潟県	39	4,900
福井県	4	500
その他	11	1,800

生活福祉資金【緊急小口資金】の特例貸付の実施について

◆対応状況

被災地への直接的な支援のほか、被災された方に対し、令和6年1月15日から緊急小口資金の申込受付も開始しています。

また、市町社会福祉協議会の生活福祉資金貸付担当者会議を臨時に開催し、円滑に資金が貸付できるよう早急な対応を行いました。

今後も被災された方に対し、必要な時に迅速に貸付できるよう周知していきます。

◆申込状況

申込件数4件 500,000円

(令和6年3月1日時点)

※いずれも県外からの避難世帯の申込となっております。

《貸付内容》

- ◆貸付対象 令和6年能登半島地震により被災し、当座の生活費を必要とする世帯。
- ◆貸付限度額 1世帯につき原則10万円。(※特別と認められる場合は20万円まで可)
- ◆据置期間 1年以内
- ◆償還期間 据置期間終了後2年以内
- ◆貸付利子 無利子(※償還期限後は残元金に対して年3.0%の利子が発生します)
- 申込先 住所を有する市町社会福祉協議会または避難先の市町社会福祉協議会



輪島市内の建物被害の様子

私たちは、1月18日から始まった能登半島地震の被災地社協への応援職員派遣の第5クールとして、2月8日から13日まで輪島市において活動しました。2月7日午後には福井を出発し、石川県羽咋市で1泊した後、翌8日の朝、輪島市に向かいました。

被災地ルポ

輪島市社協での応援職員の活動について

第5クール 福井県社協 地域福祉課 武藤功士

輪島市に近づくにつれて、土砂崩れや道路の隆起・陥没で通行が制限されるようになり、市街地に入るとさらに倒壊した家屋があちこちで道路にせり出して、緊張感が増すとともに慎重に運転しながら輪島市社協の本所に到着しました。

この時期は、まだ市内約80か所の避難所に約2,400人が避難しており、電気は復旧していましたが、市内全域で断水が続いている状況でした。

輪島市社協は、建物自体への被害はなく、職員も出勤できていましたが、職員の多くは被災により自宅に戻れず、避難所から出勤したり、家族を2次避難させて自分だけ輪島市に残った職員など、どうにか参集できているという状況でした。また、ライフラインへの影響から、社協としての通常業務の再開は難しい状況でした。



社協職員による戸別訪問の様子

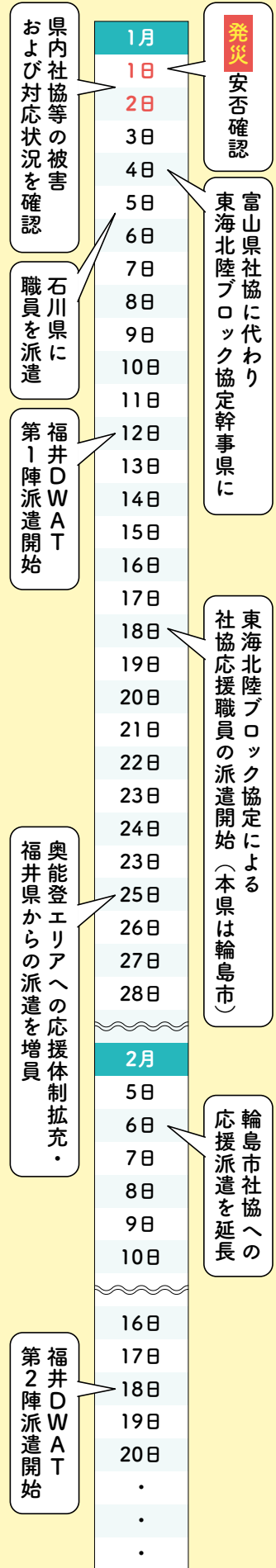
それでも市社協では、避難所以外の在宅や車中泊などで避難生活をされている方が孤立しないよう、戸別訪問活動を開始していました。生活の困りごとの相談に乗って、情報を届ける、支援につなげる活動です。

地区を訪問すると、築年数の古い建物が軒並み大きな被害を受けているようでした。平成19年3月に発生した能登半島地震後に建てられた建物は、被害が少ないようにも見えましたが、隣家が倒壊してもたれ掛かっている、落下物の危険があるなどで、訪問しても不在の家がほとんどでした。

話を聞けた住民の方からは、発災直後、住民が助け合って倒壊家屋からの人命救助や津波避難を行ったという話や、「近所の人と連絡がとれない」や「地区に人がいなくなると不審者や空き巣の被害が出ている」という不安の声も聞かれました。そうした中で顔見知りの地元社協の職員が訪問することで、「困った時は社協に相談すればいい」という安心感につながっているようでした。

輪島市社協では、戸別訪問調査の取り組みから「輪島市災害たすけあいセンター」（1月25日に開設した「輪島市災害ボランティアセンター」から名称変更）を開設し、2月10日から被災者のニーズに応えるべく、石川県のボランティアバスによる市外ボランティアの受け入れも開始しました。児童館等市社協の事業再開を望む声もあり、やるべきことは山積みですが、NPOや全国の社協ネットワークによる応援職員の力も借り、少しでも市民が被災から立ち上げられるよう、今できる支援に取り組んでいます。

福井県社協の主な対応



福井DWATが初出動

金沢市の1・5次避難所と輪島市で被災者を支援



元日に発生した能登半島地震の被災者支援のため、福井県災害派遣福祉チーム(福井DWAT)のチーム員が、石川県に派遣されました。

令和3年10月の発足以降、被災地への出動は今回が初めてです。第1陣は1月12日から31日まで、5クール計15人が金沢市のいしかわ総合スポーツセンター(ISC)に開設された1・5次避難所で、第2陣は2月18日から3月1日まで、4クール計12人が輪島市の第1クルールの出発に際し、チーム員の五島健一さん(足羽福祉会)は「災害時

こういうことを言っているのは非常識なのではないか、と(支援を)遠慮されている被災者も多いかと思えますので、丁寧に寄り添って関係を構築しながら、そうした方々の思いを聴き取って支援したいと思えます」と決意を述べました。

1・5次避難所は、1次避難所から旅館やホテル等の2次避難所に移るまでの間、一時的に滞在する場所との位

福井DWATの主な対応

1月1日	能登半島地震発生、情報収集開始
2日	DWATチーム員、県災害福祉支援NW協議会構成団体に安否確認、待機連絡
5日	石川県からの要請に基づき福井DWATの派遣を決定するとともに、チーム員並びに所属法人・団体に連絡
8日	チーム員並びに所属法人・団体に派遣を打診
10日	派遣チーム編成
11日	派遣チーム員に連絡
12~15日	◇第1クール派遣(チーム員3人、事務局2人: 県地域福祉課職員、県社協職員)
16~19日	◇第2クール派遣(チーム員3人、事務局1人: 県社協職員)
20~23日	◇第3クール派遣(チーム員3人)
24~27日	◇第4クール派遣(チーム員3人)
28~31日	◇第5クール派遣(チーム員3人)
2月13日	輪島市への派遣要請を受け、チーム員並びに所属法人・団体に派遣を打診
15日	派遣チーム編成、派遣チーム員に連絡
18~21日	◇第6クール派遣(チーム員3人)
21~24日	◇第7クール派遣(チーム員3人)
24~27日	◇第8クール派遣(チーム員3人)
27日~3月1日	◇第9クール派遣(チーム員3人)
2日~	情報収集、次期派遣準備

置づけです。石川県内で初めてISCに設けられ、ISCに近接する石川県産業展示館と小松市の小松総合体育館にも順次開設されました。

ISC内は、メインアリーナが一般避難者スペースとなり、介護度の高い方や医療的ケアの必要な方たちのスペースが別に設けられ、福井DWATは主にメインアリーナを他県のチームとともに担当しました。高齢者の割合が高く、一般避難者スペースでも入浴やトイレなどの介助が必要な方がおり、介護の専門職チームと連携して対応しました。



金沢市の1・5次避難所で活動するチーム員

長期にわたって滞在する方も少なくないため、2次避難所への転出を促す役割も求められました。

研修などでは全く想定されていなかった活動だけに困惑も見られましたが、お一人お一人の事情を丁寧に聴き取り、必要に応じて他分野の支援チームに引き継ぐなど、情報を共有しながら真摯な対応に努めました。

2月以降は、DWATの活動地域が能登北部に拡大したことを受けて、福井DWATにも輪島市への派遣要請がありました。1次避難所の巡回訪問や、門前中学校での活動拠点の開設と運営を担当。DWATの認知度向上が課題とされている中で、しっかりと気配り



輪島市の被災地を巡回するチーム員

チーム員たちは、社会福祉士や介護福祉士、看護師などそれぞれの専門性を生かして、避難生活を続ける方たちに寄り添い、会話のきっかけを工夫しながら関係づくりと支援に努めました。

DWATは、各都道府県のチームが分担しながら、輪島市や七尾市、志賀町の1次避難所や金沢市の1・5次避難所などで3月以降も活動を継続。門前中学校での活動は、東京DWATに引き継ぎ、次の派遣に備えて引き続き情報収集に当たっています。

能登半島地震災害義援金募集

福井県共同募金会では、能登半島地震で被災された方々の支援を目的に義援金を募集しています。

【受付期間】令和6年12月27日まで。

【受付方法】下記の県内金融機関の本・支店扱いの送金手数料はかかりません。

- 福井銀行学園出張所
預金種類: 普通
口座番号: 6033280
福井銀行本・支店間の窓口からの振込手数料は無料です。
 - 福井信用金庫本店営業部
預金種類: 普通
口座番号: 4358712
 - 福邦銀行本店営業部
預金種類: 普通
口座番号: 5495678
 - 福井県信連本所(JAバンク)
貯金種類: 普通
口座番号: 0009291
 - ゆうちょ銀行(郵便局)
口座番号: 00750-4-350
- ※口座名義はいずれも「社会福祉法人福井県共同募金会」
- 義援金の持参(平日のみ)
福井県共同募金会または県内各市町共同募金委員会の窓口へ。

【問い合わせ先】

社会福祉法人福井県共同募金会
TEL: 0776-22-1657
FAX: 0776-22-3093
E-mail: akaihane@mx2.fctv.ne.jp

活用してみませんか？ 社会福祉関連民間助成事業の紹介

企業や団体の中には福祉団体やボランティアグループ等を対象に様々な助成事業を行っているところがあります。本会で把握している助成事業についてご紹介します。活動のさらなる発展に助成金をご活用ください。内容は変更になる可能性がありますので、事前に必ず各助成団体のホームページや募集要項をご確認ください。本会ホームページでは、この他の助成事業についても随時助成情報を更新しています。[URL:<https://www.f-shakyo.or.jp/>]

【掲載内容は令和5年度の実績です。】

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額(上限)	申込締切	問合せ先(TEL)
シニアチャレンジ応援事業	高齢者中心の5名以上のグループ	新たにグループを立ち上げて行う活動等	部門別に助成限度額を設定	随時	(公財)福井県シルバー人材センター連合 0776-29-1195
ふくしん地域振興協力基金助成事業	公共的な活動を行う団体	地域の社会福祉に関する活動ほか	事業活動経費の50%以内	4月下旬	(公財)ふくしん地域振興協力基金 事務局 0776-25-8533
福井県しあわせ福祉資金	ボランティア団体、NPO法人、社会福祉法人、市民活動団体等	高齢者・障がい者・児童の福祉の充実を図ることを目的とする事業等	20万円	4月下旬	福井県健康福祉部地域福祉課 0776-20-0322
福井県子どもしあわせ福祉資金	ボランティア団体、NPO法人、社会福祉法人、市民活動団体等	子どもの支援や子どもの環境向上のための事業等	50万円	4月下旬	福井県健康福祉部地域福祉課 0776-20-0322
児童養護施設等助成金	児童養護施設等	学習環境に必要とされる設備等の購入費や活動費	上限50万円	4月末日	(公財)令和みらい財団 050-3590-4754
児童養護施設等助成金	児童養護施設等	教育環境の充実と、学習環境に有用な設備等購入費および活動費	上限50万円	4月末日	(公財)Future for Children FELLOWS財団 03-6276-1622
福井県社会福祉協議会まごころ基金助成	民間非営利活動団体	高齢者・障がい者・児童・地域の福祉の充実を図ることを目的とする事業	20万円	5月下旬	(福)福井県社会福祉協議会 0776-24-2339
福井県社会福祉協議会子ども未来支援事業	新たに子ども食堂を運営するグループ	子ども食堂の開設にかかる経費の一部を助成	20万円	5月下旬	(福)福井県社会福祉協議会 0776-24-2339
四年制・六年制大学進学者への支援制度	社会的養護の児童福祉施設退所または現在自立援助ホームで生活しながら進学する学生	進学金支援	①四年制4年間で30万円 ②六年制6年間で50万円	5月下旬	NPO法人タイガーマスク基金 03-5842-1347
老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業	高齢者中心のボランティアグループおよび高齢者を主な対象とした活動ボランティアグループ	継続的に使用する用具・機器の購入費	上限10万円	5月下旬	(公財)みずほ教育福祉財団 03-5288-5903
おもちゃセット助成事業	おもちゃ図書館運営団体	おもちゃ図書館活動支援	部門別に助成限度額を設定	5月下旬	(一財)日本おもちゃ図書館財団 03-6435-2842
ビジネスパーソンボランティア活動助成	社会福祉のボランティア活動を行う会社員、個人事業主等が80%以上のグループ	高齢者・障がい者福祉に関するボランティア活動、子どもの健全な心を育てる交流ボランティア活動	原則10万円	5月下旬	(公財)大同生命厚生事業団 06-6447-7101
シニアボランティア活動助成	社会福祉のボランティア活動を行うシニア(満60歳以上)が80%以上のグループ	高齢者・障がい者福祉に関するボランティア活動、子どもの健全な心を育てる交流ボランティア活動	原則10万円	5月下旬	(公財)大同生命厚生事業団 06-6447-7101
配食サービス車贈呈事業	配食サービスを行っているボランティアや民間団体、施設等	配食サービス車の贈呈	(株)デベロ社製(ダイハツ社製軽自動車改造)1台	5月中旬	(公財)毎日新聞大阪社会事業団 06-6346-1180
ニッセイ財団 高齢社会助成地域福祉チャレンジ活動助成	助成テーマにチャレンジする意欲がある団体かつ他の団体・機関、住民組織等と協働で活動する団体	地域福祉チャレンジ活動助成テーマから選択	最大400万円	5月末日	(公財)日本生命財団 06-6204-4013
子ども文庫助成	民間のグループまたは個人、および非営利団体	子どもの本購入費、病院・施設子ども読書活動費、子どもの本100冊贈呈	部門別に助成限度額を設定	6月下旬	(公財)伊藤忠記念財団 03-3497-2651
配食用小型電気自動車寄贈事業	高齢者向けに配食サービスを行っている民間団体	配食用小型電気自動車寄贈	一人乗り小型電気自動車(ミニカー)1台	6月上旬	(公財)みずほ教育福祉財団 03-5288-5903
みずほ福祉助成財団社会福祉助成金	非営利法人、任意団体・ボランティアグループ	障がい児者の福祉向上を目的とする事業	事業(研究)総額20万円~100万円の90%以内	6月末日	(公財)みずほ福祉助成財団 03-5288-5905
丸紅基金社会福祉助成金	非営利法人	社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動等)を行う民間の団体が企画する事業	200万円	6月末日	(福)丸紅基金 03-3282-7591
清水基金文化芸術活動特別助成事業	社会福祉法人・NPO法人	障害者の文化芸術活動支援	30万円~200万円	6月末日	(福)清水基金 03-3273-3503
清水基金NPO法人助成事業	NPO法人	利用者に必要な機器、車両購入費、建築費支援	50万円~700万円	6月末日	(福)清水基金 03-3273-3503
特別活動助成	心のケアのための傾聴ボランティア活動団体(自然災害の被災者はじめコロナ禍で困難な状況にある人等を傾聴)	活動に直接要する会議費、旅費交通費、通信運搬費、機材購入費、消耗品費、印刷製本費、諸謝金等	上限50万円	7月末日	(公財)ユニベール財団 03-3350-9002
子ども食堂への助成	子ども食堂を運営する非営利法人・団体	事業運営に必要な資金に対する助成	上限10万円	9月末日	(一財)トナミホールディングス松寿会 0766-32-1855
こくみん共済coop地域貢献助成	NPO法人、一般社団法人、任意団体、市民団体等	自然災害に備え、いのちを守る活動、地域の自然環境・生態系を守る活動、温暖化防止活動や循環型社会づくり活動、子どもや親子の孤立を防ぎ、地域とのつながりを生み出す活動、困難を抱える子ども・親がたすけあい、生きる力を育む活動	上限50万円	9月上旬	こくみん共済coop(全労災) 03-3299-0161

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額(上限)	申込締切	問合せ先(TEL)
スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム	非営利団体	①チャレンジコース(地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざすもの) ②アドバンスコース(地域を超えたコミュニティスポーツの展開等)	①50万円以下(1年間分) ②300万円以下(2年間分)	9月下旬	(公財)住友生命健康財団 03-5925-8660
ボランティア活動助成	5名以上で活動し、かつ営利目的としない団体	高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動等、地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動	上限30万円	9月中旬	(公財)大和証券財団 03-5555-4640
発達障がいとともに生きる豊かな地域生活応援助成	発達障がい当事者およびその家族等に対し支援活動を行っている法人・団体	当事者の苦手なことや困りごとに寄り添う支援、本人の得意分野を伸ばす活動や居心地のよい環境整備に力を注ぐ活動、または家族や支援者をサポートする活動	1団体につき 最大100万円	10月下旬	(福)朝日新聞厚生文化事業団 090-4344-6613
環境市民活動助成	NPO法人、一般社団法人、任意団体、市民団体等	①未来へつなごう助成 ②地域美化助成 ③活動助成 ④NPO基盤強化助成	①1団体あたり 最大30万円 ②1団体あたり 最大50万円 ③1団体あたり 最大100万円 ④1団体あたり 最大400万円	10月末日	(一財)セブンイレブン記念財団 03-6238-3872
東京海上日動あんしん生命奨学金制度	疾病により保護者を失った遺児で、経済的理由により援助を必要とし、高等学校等から大学等への進学希望がある方	遺児への教育支援	年間30万円	10月末日	(公財)日本フィランソロピー協会 03-5205-7580
認定NPO法人取得資金助成	社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画している特定非営利活動法人	認定NPO法人の取得に関する費用	30万円	10月上旬	(公財)SOMPO福祉財団 03-3349-9570
キリン・地域のちから応援事業およびキリン・福祉のちから開拓事業	【地域のちから】4名以上で活動する団体・グループ 【福祉のちから】10名以上で活動する団体・グループ	【地域のちから】子ども・子育て世代、シルバー世代、障害や困りごとのある人・支える人の福祉向上、地域やコミュニティの活性化 【福祉のちから】障害者、高齢者、児童・青少年、地域社会の福祉向上	【地域のちから】 上限30万円 【福祉のちから】 上限100万円	10月末日	(公財)キリン福祉財団 03-6837-7013
助成事業	非営利団体、公益に資する事業をおこなう団体等	社会貢献活動(学術研究の振興、芸術文化の発展向上、環境の保護保全、国際交流の推進、青少年の健全育成、社会教育の充実、地域社会の活性化、社会福祉の増進など)	部門別に助成限度額を設定	11月下旬	(公財)大阪コミュニティ財団 06-6944-6260
社会福祉育成活動推進のための助成事業	非営利法人	社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動を行う民間団体が必要とする設備、備品類助成)	上限20万円	11月上旬	(公財)愛恵福祉支援財団 03-5961-9711
手のひらパートナープログラム	難病患者さんの生活の質向上に向けた活動を実施する難病患者団体、家族会および連合組織、NPO等非営利団体	療養環境の向上をめざす活動、就学/就労等、社会参加を支援する活動、難病に対する、一般の人たちの理解や支援を促進する活動等	上限100万円	11月中旬	田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム事務局 03-5205-7580
ヤマト福祉財団助成金	福祉施設・団体の方々	①障がい者給料増額支援助成金(給料を増額するための新規事業立ち上げ等) ②障がい者福祉助成金(福祉を進進するための事業や活動)	①50万円～ 500万円 ②上限100万円	11月末日	(公財)ヤマト福祉財団 03-3248-0691
日本郵便年賀寄付金配分事業	全国各地の社会貢献・地域貢献活動を行う団体(社会福祉法人、更生保護法人、特定非営利活動法人等)	法律で定められた10事業(社会福祉の増進、青少年の健全育成のための社会教育、地球環境の保全、健康保持増進のためのスポーツ振興等)	部門別に助成限度額を設定	11月上旬	日本郵便株式会社 年賀寄付金事務局 03-3477-0567
連合・愛のキャンパ助成金	助け合いによる生活支援活動を主たる目的とする任意団体、NPO法人、グループ、サークル等	新たに始める、地域におけるふれあい、助け合い活動	上限15万円	11月末日	(公財)さわやか福祉財団 03-5470-7751
POSC社会貢献活動支援のための助成	民間非営利組織	社会貢献活動(パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研修への支援、子どもの健全育成事業、SDGsの目標実現の支援)	150万円以内	12月上旬	(一社)パチンコ・パチスロ社会貢献機構(POSC) 03-5227-1047
毎日新聞大阪社会事業団シンシア基金	身体障害者補助犬の支援を行う民間団体	身体障害者補助犬の普及・啓発活動や訓練施設への活動費助成、もしくは事業助成等	50万円以内	12月中旬	(公財)毎日新聞大阪社会事業団 06-6346-1180
日本社会福祉弘済会社会福祉助成事業	社会福祉法人、福祉施設、福祉団体、任意団体・グループ	研修事業、研究事業	上限50万円	12月中旬	(公財)日本社会福祉弘済会 03-5858-8125
WAM助成社会福祉振興助成事業	社会福祉の振興に寄与する事業を行う営利を目的としない団体(NPO法人、社会福祉法人、ボランティア団体など)	物価高騰の影響下における生活困窮者やひきこもり状態にある者等の支援	部門別に助成限度額を設定	1月下旬	(独)福祉医療機構 03-3438-4756
WAM助成通常助成事業	社会福祉の振興に寄与する事業を行う営利を目的としない団体(NPO法人、社会福祉法人、ボランティア団体など)	地域共生社会の実現	部門別に助成限度額を設定	1月下旬	(独)福祉医療機構 03-3438-4756
WAM助成モデル事業	社会福祉の振興に寄与する事業を行う営利を目的としない団体(NPO法人、社会福祉法人、ボランティア団体など)	国や自治体において政策化・制度化を目指す新たなモデルとなり得る活動	部門別に助成限度額を設定	1月下旬	(独)福祉医療機構 03-3438-4756
ENEOS奨学助成	児童養護施設、母子生活支援施設、里親家庭	児童養護施設、母子生活支援施設および里親家庭の児童等が高等学校卒業後、大学・短期大学・専門学校等に進学する際の支度費	1名あたり 10万円	1月中旬	(福)全国社会福祉協議会児童福祉部 03-3581-6503 (公財)全国里親会 03-3404-2024
ノエビアグリーン財団助成事業	団体、個人	児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業、将来、世界大会やオリンピック、パラリンピック出場等を目指すアマチュアスポーツ選手	上限300万円	2月末日	(公財)ノエビアグリーン財団 03-5568-3388
杉浦地域医療振興助成	個人又は団体	地域包括ケア、健康寿命の延伸に関する住民参加型の活動、研究	【活動分野】 上限50万円 【研究分野】 上限200万円	2月末日	(公財)杉浦記念財団 0562-45-2731

高齢福祉分野における eスポーツ普及・促進セミナー開催！

令和6年2月7日(水)、県社会福祉センターにて「高齢福祉分野におけるeスポーツ普及・促進セミナー」を開催し、県内の高齢者福祉施設職員、市町村協職員、老人クラブ会員など約50名が参加しました。

eスポーツは、テレビゲームを競技として行う取組みで、年齢、性別、障がいの有無や程度に関わらず誰でも参加でき、場所の制約も少ないことから、特に高齢福祉分野では既存のレクリエーションとは異なる新たな生きがいづくり、世代間や地域交流の可能性があるととして、「ねんりんピック2024」の正式競技に採用されるなど普及が進んでいます。

本セミナーは、県内の高齢福祉分野に携わる職員を対象として、地域高齢者へのeスポーツの普及促進を目的に開催しました。はじめに福井県eスポーツ連合事務局長の澤田英之氏より、e



澤田事務局長による講義

スポーツ連合事務局長の澤田英之氏より、e



対戦型ゲームで競い合う参加者の様子

社会福祉法人藤島会の中山さおり氏より、eスポーツを体験した高齢者の様子などを紹介した。とくに、施設の中においてもオンラインで社会と繋がることができるeスポーツの利点についてお話しいただきました。

その後、参加者同士による対戦型ゲームでの体験会を行い、コミュニケーションツールとしての楽しさ、可能性について、体感いただきました。

参加者からは、「レクリエーションや余暇活動などで活用したい」、「対戦を通して人との繋がりが感じられ、気軽な社会参加が可能になる」、「利用者の楽しみ、生きがいを引き出すことができる」などの感想がありました。

スポーツの概要、導入における効果や留意点などを説明いただきました。続いて、県内でeスポーツを試験的に導入している

令和6年度 各種貸付事業のご案内

保育士・介護福祉士をめざす方や再就職する方、
初めて介護・障害福祉分野に就く方、またひとり親家庭、
児童養護施設入所者の方の自立生活を応援します！

いずれも一定の要件(資格取得、対象業務への従事等)を満たせば、貸付金の返済を免除します。



- 専門学校・短大・大学で資格を取る方に…
介護福祉士・社会福祉士・保育士修学資金
- 介護の仕事しながら資格取得を目指す方に…
介護福祉士実務者研修受講資金
- もう一度、介護・保育の仕事にチャレンジする方に…
離職介護人材再就職準備金、保育士就職準備金
- 初めて介護や障害福祉のお仕事に就いた方に…
介護・障害福祉分野就職支援金
- 高等職業訓練促進給付金を活用し資格を目指す方に…
ひとり親家庭職業訓練資金
- 就業し自立に向けて意欲的に取り組むひとり親の方に…
ひとり親家庭住宅支援資金
- 児童養護施設や里親等から自立する方の資格取得や生活費等の支援に…
児童養護施設入所者自立支援資金



4月1日から募集を開始します。

貸付要件や申請方法など、詳細は本会ホームページ上の募集要項等にてご確認ください。

【問合せ先】 地域福祉課 ☎0776-24-4987



福井県社会福祉研修所 研修実施計画

(1) 福祉職員専門課題別研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	新 人材定着のためのワークステージ研修	2日間	6～9月	福井
②	職員のほめ方・叱り方研修	1日間	5～7月	福井
③	新 ティーチング研修	1日間	5～7月	福井
④	接遇研修(新社会人・中堅者)	1日間×各2コース	5～10月	福井
⑤	伝わる記録の書き方研修(高齢者障がい者施設・ 新 児童施設)	1日間×各1コース	8～10月	福井
⑥	高齢者・障がい者虐待防止研修	1日間×2コース	6～7月 10～11月	福井・丹南
⑦	新 福祉レクリエーション研修	1日間	5～7月	福井

(2) 福祉職員業種・職種別研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	主任保育士・主幹保育教諭研修(保護者支援・子育て支援研修)	3日間	6～8月	福井
	主任保育士・主幹保育教諭研修(マネジメント研修)	3日間	11～R7.1月	福井
②	栄養士・調理師研修	1日間	10～11月	福井
③	老人・障がい者福祉施設看護職員研修	2日間	9～R7.2月	福井
④	新 看護職員研修(全種別)	1日間	9～R7.2月	福井
⑤	メンタルヘルス研修(一般職員・管理職)	半日間×各1コース	9～R7.2月	福井

(3) 介護支援専門員養成研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	介護支援専門員専門・更新研修(経験者)課程I	14日間×2コース	5～11月	オンライン
②	介護支援専門員専門・更新研修(経験者)課程II	9日間×3コース	5～R7.2月	オンライン
③	介護支援専門員実務研修	19日間×1コース	12～R7.3月	オンライン
④	介護支援専門員再研修・更新研修(未経験者)	14日間×2コース	7～9月 12～R7.3月	オンライン

(4) 認知症介護実践者研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	認知症介護実践者研修	26日間×2コース	6～R7.2月	福井・丹南
②	認知症対応型サービス事業管理者研修(開設前受講義務付け)	3日間×2コース	6～8月 11～12月	福井・丹南
③	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修(開設前受講義務付け)	2日間×2コース	7～8月 11～12月	福井・丹南
④	認知症対応型サービス事業開設者研修(開設前受講義務付け)	3日間×2コース	6～8月 11～12月	福井・丹南
⑤	認知症介護実践リーダー研修	28日間	8～10月	福井・丹南

(5) 保育士等キャリアアップ研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等	
①	専門分野別研修	乳児保育	各3日間×1コース	6～12月	オンライン
②		幼児教育			
③		障がい児保育			
④		食育・アレルギー対応			
⑤		保健衛生・安全対策			
⑥		保護者支援・子育て支援			
⑦	マネジメント研修	各3日間×1コース	6～12月	オンライン	
⑧	保育実践研修			福井	

(6) キャリアパス対応福祉職員生涯研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	初任者研修	3日間	6～7月	福井
②	中堅職員研修	3日間	10～11月	福井
③	チームリーダー研修	2日間	7～8月	福井
④	管理職員研修	2日間	10～11月	福井

(7) 定着支援研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	初任者フォローアップ研修(老人)	半日間×2コース	R7.1～2月	福井・嶺南
	初任者フォローアップ研修(児童)	半日間		福井
	初任者フォローアップ研修(障がい)	半日間		福井
②	中堅職員フォローアップ研修(老人)	半日間×2コース	R7.1～2月	福井・丹南
	中堅職員フォローアップ研修(児童)	半日間		福井
	中堅職員フォローアップ研修(障がい)	半日間		福井
③	就職内定者応援セミナー	半日間	R7.3月	福井
	就職内定者応援セミナー同窓会	2時間	10月	福井



研修の詳細内容は、本会ホームページでご確認ください。

開催2か月前にはホームページに掲載するほか、「研修受講サポートシステム」よりメールにてご案内いたします。

寄付 寄贈

心温まる寄付・寄贈に
心から感謝申し上げます。
皆様の善意は有効に
活用させていただきます。

♥12月20日 (写真①)

寄贈者 内倉隆保 様
●車いす1台

寄贈先 福井県社会福祉センター

♥1月25日

寄付者 株式会社平和堂 様
●寄付金 300,000円

寄付者 福井県社会福祉協議会
「子ども未来応援バンク」

♥1月30日 (写真②)

寄付者 今村証券株式会社 様
●寄付金 1,148,974円

寄付者 福井県社会福祉協議会
「子ども未来応援バンク」

♥2月1日 (写真③)

寄付者 株式会社 システム研究所 様
●寄付金 200,000円

寄付者 福井県社会福祉協議会
「地域福祉救援活動事業」

♥2月20日 (写真④)

寄贈者 一般社団法人 生命保険協会福井県協会 様
●福祉巡回車2台 ●車いす5台

寄贈先 ●福祉巡回車
若狭町社会福祉協議会、鯖江市社会福祉協議会

●車いす
桜手苑デイサービスセンター、アスプラふじしまデイサービスセンター、聖和園デイサービスセンター、ほのぼの苑デイサービスセンター、デイサービスセンター湖岳の郷

♥2月27日 (写真⑤)

寄贈者 株式会社 平和堂 様
●能登半島地震被災店舗物品

寄贈先 福井県社会福祉協議会
「子ども未来応援バンク」



♥2月29日 (写真⑥)

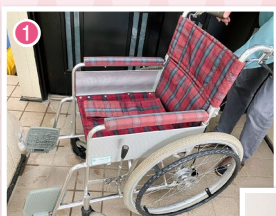
寄付者 トータル・ライフ・コンサルタント福井会 様
●寄付金 50,000円

寄付者 福井県社会福祉協議会「地域福祉救援活動事業」

♥3月4日 (写真⑦)

寄贈者 一般社団法人 福井県電業協会 様
●寄付金 300,000円

寄贈者 福井県社会福祉協議会
「子ども未来応援バンク」



賛助会員を募集しています

福井県社協の事業活動費は、会費や県民の皆様からのご芳志、国や県等の補助金などを財源にしておりますが、特に会費につきましては、民間団体として活気のある運営と活動の推進を図るためには欠かすことのできないものです。

本会の活動の趣旨をご理解いただき、賛助会員としてご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会費は年間1口5,000円です。入会のご希望の方は、お気軽にお問合せください。

【お申込み・お問合せ先】 総務企画課 総務グループ TEL.0776-24-2339

福井県社会福祉研修所

「研修受講サポートシステム」での研修お申込みの前に
事業所の基本情報が正しいか確認してください

「研修受講サポートシステム」の事業所データに誤りがあると、研修の案内メールや受講決定通知が受け取れなくなります。

研修お申込みの前に、システム内の事業所データ（特に所在地、メールアドレス）に誤り、変更がないか確認してください。お手数ですが、最新の事業所情報への更新をお願いします。

システムへのログインには、「事業所ID」と「パスワード」が必要です。

システムについてのご質問、お問い合わせは、福祉人材課育成支援グループ（0776-21-2294）にどうぞ。



タイ人技能実習生 受入施設募集



～2025年春 入国予定者(第7期生)～

「明るい性格で、年配者に対する尊敬や思いやりに溢れる」
タイ人介護技能実習生の受入施設を募集いたします。具体的な
説明や相談等を希望される場合は、下記までご連絡ください。



- 監理団体** 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 (ふくい外国人介護職員支援センター)
- 募集施設** 県内の介護施設・事業所 5施設・事業所程度
- 技能実習生** タイ人介護技能実習生 10人程度 (18歳～20代前半)
- 受入要件**
 - (1) 原則として2人以上での受け入れ
 - (2) 基本的な受入期間は3年間
 - (3) 日本人と同等以上の月給のほか、監理費が必要
 - (4) 住居(寮)の確保等 ※詳細についてはお問い合わせください

これまでに受け入れた
タイ人介護技能実習生
に関する動画はこちら
からご覧になれます➡



県社協の取り組みの特色 (メリット)

- 介護現場に精通した職員が体制づくりからアドバイスをを行い、外国人介護職員受け入れの不安を解消
- 施設配属前には、県介護福祉士会と連携して介護講習を実施し、施設の実習にスムーズに移行
- タイ語の専任通訳職員が実習生とのコミュニケーションをフォロー
- 実習開始後も日本語上達に向け、独自の日本語研修を毎月開催

問合せ先 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 ふくい外国人介護職員支援センター
☎ 0776-24-0086 FAX 0776-24-0063 E-mail: kaigo@f-shakyo.or.jp

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術	入院中の手術	65,000円	
	保険金	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

〈SJ22-12223より抜粋して作成〉



社会福祉 3

ふくい社会福祉 第465号
令和6年3月25日 発行

- ◆ 発行 / 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22
TEL(0776)24-2339 URL https://www.f-shakyo.or.jp/
- ◆ 編集 / 総務企画課 (1部35円: 購読料は会費に含まれます)